

5月 定例教育委員会会議録

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 日 時 | 令和4年5月31日（火） 午後5時30分から午後6時30分まで |
| 2 | 会 場 | 磐田市役所 西庁舎3階 特別会議室 |
| 3 | 出席者 | 村松啓至教育長
秋元富敏委員、鈴木好美委員、大橋弘和委員、阿部麻衣子委員 |
| 4 | 出席職員 | 藪田欣也教育部長、鈴木智也教育総務課長、内藤弘隆学府一体校推進室長、
水野康代学校給食課長、小沼裕樹学校教育課長、岡本由紀子中央図書館長、
竹内直文文化財課長、伊藤方伸地域づくり応援課長、
鈴木雅樹スポーツ振興課長、伊東直久幼稚園保育園課長、
大石修次放課後児童支援室長 |
- （傍聴人：0人）

（進行委員：大橋弘和委員）

1 開会

新任教育委員の紹介

○5月議会の臨時議会にて、青島美子委員の後任として阿部麻衣子さんの就任が承認されましたので、ご紹介します。

2 教育長あいさつ・教育長報告

皆さんこんにちは。まず、コロナの感染状況についてですが、今週に入って2クラスが学級閉鎖しましたが、全体的には安定していきまして、修学旅行、2年生のフィールドワーク、1年生の遠足といった行事が予定どおり行われて、ほっとしています。次にウクライナ情勢についてですが、子どもたちのために、とにかく早く平和な暮らしが戻るように心から願っています。先日、教育委員会の学校訪問を行いました。訪問の中で感じたことですが、たいへん子どもたちが落ち着いていて、自ら学びを進める子どもたち自身がもつ推進力を感じることができました。たいへんすばらしいことだと思います。また、対話的学習（いろんな表現の仕方がありますが）、ペア学習がたいへんうまく出来ていて、子どもたちが交流する場面を興味深く見させていただきました。コロナの中でも、活動の目標をつかみ、子どもたちはよく頑張っていると思います。

「磐田市教育大綱」は、約7年前につくったものです。「いのちを培う」から「こころざしを培う」までの6項目です。これは、長野の信濃教育、新潟の長岡の教育の考え方など活用しています。「磐田市教育大綱」は、8年前につくられた「磐田の教育」道しるべ、「こども憲章」を考え方や言葉のエッセンスをまとめ、焦点化したものです。「磐田の教育」道しるべは、道徳的に大切なこと、倫理的な内容が集約されています。「こども憲章」は、生活に役立つ約束事など、具体的な内容が集約されています。「磐田市教育大綱」にある「培う」は、東井義夫がまとめた「培其根」からとったものです。「培其根」は子どもたちの成長と先生の成長を記録した大変貴重な書物です。根を培う、つまり「人間の根っこをしっかりと培うこと」が教育の基本であることが描かれています。レジリエンスなど、話題となっている今、改めて見てみますと、この「培う」という言葉は、この日本の教育の中の基軸となっています。「磐田市教育大綱」は、「磐田の教育」道しるべと「こども憲章」を

集約して出来上がったものであること。そして、「培う」には日本の伝統文化を背景に、教育理念が短い言葉の中に表現されていることを確認したいと思います。

本日はよろしく申し上げます。

3 前回の議事録の承認

4月28日定例会に関して

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

○私からは5月臨時議会について報告します。臨時議会は16日から23日まで行われました。例年5月臨時議会で行われる副議長の選挙については、松野前副議長に代わり、芥川議員が選出されました。新たな副議長の選出による各種委員会構成等の変更については、新しい副議長の芥川議員は、申合せにより総務委員会の所属になり、松野議員は建設産業委員会の所属になりました。また、このほかの変更として、予算決算委員会の副委員長が高梨議員から芦川議員へ変更になったほか、広報広聴委員会については、委員長が虫生議員から小柳議員に、副委員長が鳥居議員から江塚議員へ変更になりました。なお、予算決算委員会の委員長は、岡議員から変更はなく、民生教育委員会の委員構成のほか、学校給食運営委員会委員、通学区域審議会委員、図書館協議会委員、旧見付学校協議会委員についても変更はありません。なお開会に先立ち御案内しましたとおり、教育委員会関係では、阿部麻衣子さんの教育委員の任命に議会の同意が得られました。

<質疑・意見>

なし

5 議事

・議案第27号 令和3年度磐田市教育委員会の自己点検及び評価について

○この報告書は、令和4年3月18日の自己点検の評価会議における教育長及び教育委員のご意見と、外部有識者の静岡大学の島田先生のご意見を踏まえて取りまとめたものです。教育委員自らが活動を振り返り、自己点検及び評価により、活動の改善を図っていくということが主な趣旨となります。昨年度の教育委員会の活動の達成度評価については、6項目中4項目がAの評価、2項目がBの評価となっています。コロナの感染拡大の影響による研修会や視察の中止という点を達成度Bとしています。オンライン会議等へ出席し、教育施策を多角的に学ぶように努めました。静岡大学の島田先生からも、積極的にオンライン研修に参加して他自治体の委員と交流している点や、教育委員の皆様が学校運営協議会で発言した内容が教育委員会に吸い上げられて施策の立案の向上につながっている点等を評価していただいています。今後の改善については、情報発信だけでなく、情報交流ができるシステムの構築や、教育大綱の意義の継承が持続できる仕組みづくりの確立という点をあげさせていただいています。この報告書につきましては、令和4年度磐田の教育へ掲載するとともに、正・副議長へ、概要を説明する予定です。

<質疑・意見>

■総合評価の令和4年度における教育委員会活動方針と取組の中にある「放課後の児童の居場所づくりの研究」ですが、3年以上頑張って取り組んできたので、「さらなる研究に取り組む」など、今までやってきたことを踏まえて、文章表現を改めてほしいと思います。

□文章表現を改めます。

■徐々にコロナウイルス感染が収まってきて、各地域の交流センターや地域づくり協議会などの社会教育の活動や、幼稚園、保育園の活動などを見ることができるようになる機会が増えればよいと思っています。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第27号は原案どおり承認された。

・議案第28号 令和4年度磐田市一般会計補正予算第2号（教育費関係）の要求について

・議案第29号 令和4年度磐田市一般会計補正予算第3号（教育費関係）の要求について

○まず、歳入から、10、15款2項1目の総務費国補助金、こちらは新型コロナウイルス感染症対策として実施する事業に対する地方創生臨時交付金の増額分となります。次の21款5項5目、教育費の雑入は、食材料費増額に伴う小・中学校と幼稚園等の職員の負担金の増額分の歳入となります。次に歳出の10款1項2目の学校給食食材調達事業は、食材料費の高騰に伴う学校給食の食材料費の増額分となります。6月議会の初日が先議の議決分の予定となっています。

続いて議案第29号ですが、歳入については先ほどと同じで、地方創生臨時交付金の増額分となります。内容は、小中学校のスクールサポートスタッフの person 費として活用する予定です。次に15款2項7目の歳入は、デジタル田園都市国家構想推進交付金の増額分となります。内容は、小中学校のコンピューター教育推進事業費として活用します。歳出は、先ほどの10款2項が小学校費、3項が中学校費となり、スクールサポートスタッフの person 費、コンピューターの教育推進事業、教職員の業務支援やICTの環境整備による授業の充実を目的とした各費用の増額分となります。

<質疑・意見>

■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の所管が政策推進課となっているのはなぜですか。

□市全体の地方創生臨時交付金の取りまとめを行っているのが政策推進課であり、補正予算書上はその所管がそのまま表示されます。補正予算第3号の歳出についても、スクールサポートスタッフ事業の所管は学校教育課ですが、person 費は教育総務課が取りまとめをしています。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第28号及び議案第29号は原案どおり承認された。

・議案第30号 磐田市立図書館協議会委員の委嘱等について

○磐田市立図書館条例第8条第2項に基づく委嘱であり、委員の定数は10年以内とし、その任期は2年となります。今回は磐田市校長会代表と、磐田市教育研究会学校図書館部代表者の交代により、新たに委嘱または任命する必要が生じたため、審議をお願いするものです。任期は前任者の在任期間の令和5年5月31日までとなります。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第30号は原案どおり承認された。

・議案第31号 令和4年度磐田市立小学校及び中学校の給食費について

○本市の学校給食保護者負担金は、平成26年度の改定後7年間その金額を据え置いてきました。食料料価格が年々上昇する中でも、文部科学省が定める学校給食摂取基準を満たすよう、工夫を重ねて献立を作成してきましたが、コロナ禍、世界情勢の不安、異常気象による農作物の不作等により、限界が見えてきました。これにより本年度は、保護者に新たな負担を求めず、安定的に質を確保した学校給食を提供するため、不足する食材料費を補う臨時措置を実施することにしました。必要となる財源は全額、新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用する予定で、来る6月議会に先議議案として補正予算を上程し、7月から食材料費を増額した給食の提供を開始する予定です。保護者以外の教職員については、7月以降、相応の負担をお願いすることになります。

<質疑・意見>

■なぜ地区によって1食単価が違うのですか。全部米飯じゃなくなったのに、1食単価が違う理由は何ですか。

○これは、給食の設備の問題で、御飯を自前で炊飯できる施設を持っている地区とそうでない施設によって、御飯にかかるコストが大きく変わります。自前の炊飯施設を持っていない施設は、コストが高くなります。それからセンターで調理しているか、単独施設で調理しているかでもコストが変わります。センターの方は調理設備が整っていますが、単独施設では加工されたものを買うことがあります。合併前の各地区の料金がそのまま引き継がれている形となっているため、地区によって単価が違う結果となっています。今後も物価の動向を見ながら価格を調整していく予定です。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第30号は原案どおり承認された。

6 報告事項

(1) スポーツ振興課

○磐田卓球場、磐田アーチェリー場など5つの体育施設と竜洋体育センターについて、令和5年度より指定管理者制度を導入するため、条例の一部を改正します。竜洋体育センターについては、運用の中で部分利用を行ってきた2階多目的スペースについて新たに規定を設けるものです。

<質疑・意見>

■指定管理者制度に来年度から移行されるということですが、利用料金はどうなりますか。

□料金は現在決まっている金額を上限としており、料金が上がることはありません。

(2) 教育総務課

○要保護及び準要保護児童生徒の認定ですが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した家庭からの申請が増加し、その増加傾向が続くと見込んでいます。引き続き、支援を必要とする方への支援が行き渡るように、実態把握や情報提供に努めたいと思います。

<質疑・意見>

■認定児童生徒数と父子・母子家庭が占める割合の数字が一部違っているのは何ですか。

□後ほど調べて報告します。

■今日回答してくれなくていいのですが、ここ2～3年のコロナの影響による要保護等の推移を詳しく見てみたいと思います。

□後日資料をお見せすることにします。

※要保護認定数の差異、要保護等の推移については次回定例会で報告する。

(3) 学校給食課

<質疑・意見>

なし

(4) 学校教育課

○令和4年度中学校スポーツ部活動の外部指導者の委嘱は35名になります。

<質疑・意見>

■ふるさと教師塾とふるさと礎プラン研修会の違いを教えてください。

□ふるさと礎プラン研修会は、若手の教員の育成を目的として行っています。ふるさと教師塾は、若手の教員も、これから教員になる方も、それぞれ魅力を感じてほしいということで取り組んでいる事業ですが、コロナ禍で大学生を対象にできていないのが現状です。

(5) 中央図書館

○各館1週間程度休館にして点検を行いました。全館蔵書を見直し、除籍とする資料を出しています。コロナ禍で来館者が減ったことにより、不明資料の数が減少しているものと思われます。

<質疑・意見>

■除籍とする資料の基準はあるのですか。

□購入後10年以上経過したもので新刊が出ているものなど、除籍基準に照らし合わせて作業を行っています。

(6) 文化財課

○訪問歴史教室は学校の授業とは別に行うもので、文化財課職員による講話や体験授業を行います。申込みの日時が集中し、すべて対応するのが大変ですが、一校でも多く対応ができるよう、PRをしていきたいと思えます。

<質疑・意見>

■訪問歴史教室に私（教育委員）が参加することは可能ですか。可能でしたら参加したいのですが。

□可能です。後日開催日を伝えますので、来校される日を学校教育へご連絡ください。

■内容はそれぞれ違うのですか。

□現在は3年生と6年生を対象として行っています。3年生は昔の人の暮らしについて、6年生は遺跡等についての授業を行っています。

■写真撮影指導とありますが、撮り方によって全然違うのですか。

□写真撮影の技術指導ということで来ていただいているのですが、実際はその方が全部撮影してくれています。専門職員が撮影することが通例となっています。

(7) 地域づくり応援課

○（子ども若者と笑顔でつながる地域の集いについて補足説明）

<質疑・意見>

なし

(8) 幼稚園保育園課

○ (実施予定事業の研修内容について補足説明)

<質疑・意見>

なし

7 協議事項

・令和4年度磐田市教育委員会の自己点検及び評価における目標設定について

○資料の各項目の内容欄を見ていただき、○印のものが昨年度から継続して行う目標で、★印のものが先ほど議案で説明した令和3年度点検報告の中の令和4年度における活動方針と取組となっています。先ほど秋元委員からご指摘があった「放課後の児童の居場所づくり」の取組の表現については、改めたものにさせていただきます。

<質疑・意見>

なし

8 その他

・報告事項「磐田市中学生スタートアップ応援事業について」

○年々利用者が増えていて市民から好評を得ています。昨年度から電子申請を始めた成果も出ていると思います。教育委員の皆さんからも応援メッセージをいただければ、子どもたちも喜ぶしますので、ご協力をお願いします。

<質疑・意見>

なし

9 次回教育委員会の日程確認

・定例教育委員会

日時：令和4年6月30日（木） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

10 閉会